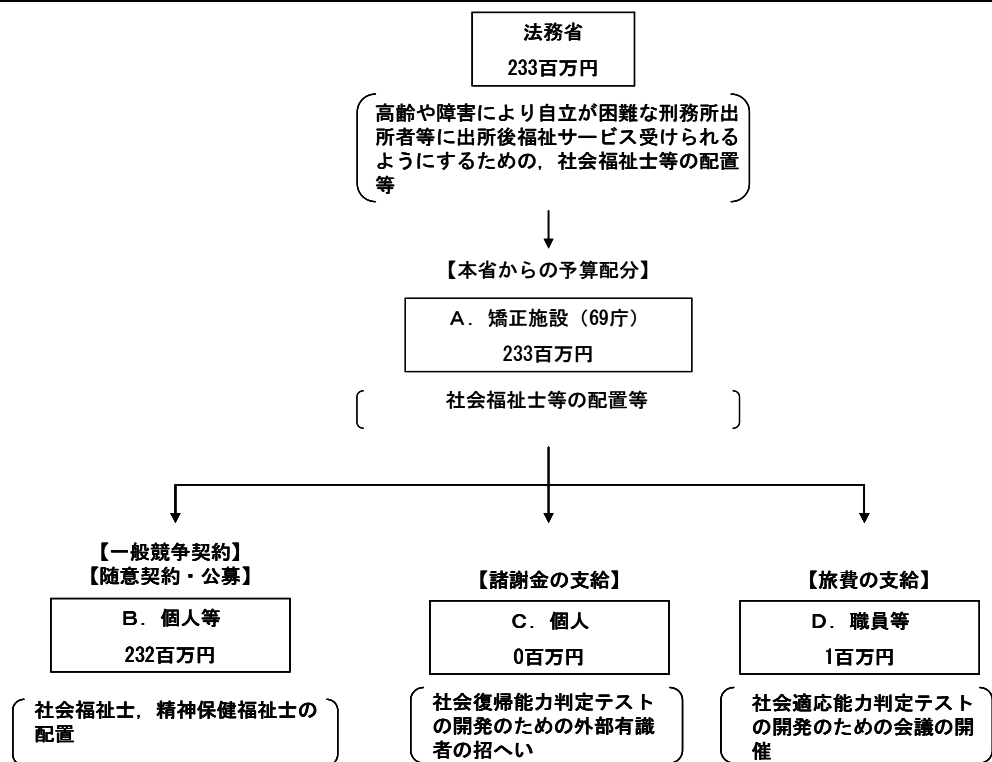


行政事業レビューシート（法務省）							
予算事業名		地域生活定着支援の推進		事業開始年度	平成21年度	作成責任者	
担当部局庁		矯正局		担当課室	総務課	西田 博	
会計区分		一般会計		上位政策	矯正施設における収容環境の維持及び適正な処遇の実施		
根拠法令 （具体的な条項も記載）		刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律等		関係する計画、通知等	犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008		
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		刑務所出所後の自立した生活の困難な高齢受刑者や障がい者を有する受刑者が、出所後直ちに福祉サービスを受けられるようにするため、刑務所に社会福祉士・精神保健福祉士を配置し、保護観察所や地域生活定着支援センターと連携して、出所後の自立した生活基盤を確保することにより再犯防止を目的としている。					
事業概要 （5行程度以内。別添可）		高齢受刑者や身体等に障がい者を有する受刑者は、出所後、生活基盤が安定していないため短期間のうちに生活苦に陥り、再び犯罪を犯すおそれが高いことから、出所後直ちに福祉の支援を受けられるように、刑務所に社会福祉士の資格を有する者を配置し、①支援が必要な受刑者の選定、②当該受刑者の福祉ニーズの把握、③当該受刑者が行う福祉サービスの申請手続きに対する支援等を行う。					
実施状況		刑務所等69施設に社会福祉士・精神保健福祉士を配置し、福祉による支援が必要な受刑者の選定、福祉ニーズの把握、出所後の医療福祉機関との調整及び障害者手帳の取得などの福祉サービスの申請手続き等の支援を行っており、平成21年度は、関係機関と調整し、被収容者604名の保護調整を実施した。					
予算の状況 （単位：百万円）			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
		予算額（補正後）	-	-	233	344	333
		執行額	-	-	233		
		執行率	-	-	100.0%		
		総事業費（執行ベース）	-	-	233		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	刑務所に配置する社会福祉士・精神保健福祉士については、ハローワーク等を通じて公募を行った上、各施設において非常勤職員として採用しているため、採用者個人に賃金を支出している。					
	見直しの余地	刑務所における高齢受刑者や障がい者を有する受刑者は急激に増加しており、今後も出所後の支援を必要とする受刑者は年々増加することが見込まれることから、刑務所と地域社会との連携をより強化するため、社会福祉士・精神保健福祉士による出所後の支援体制を継続する。					
予算チームの監視・所見率化	現状のまま						
補記							

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



(B 別 紙)

契約の種類	支 出 先	主な契約内容	金額(百万円)
公募	個人	地域定着支援業務	3
公募	個人	地域定着支援業務	3
公募	個人	地域定着支援業務	3
公募	個人	地域定着支援業務	3
公募	個人	地域定着支援業務	3
公募	個人	地域定着支援業務	3
公募	個人	地域定着支援業務	3
公募	個人	地域定着支援業務	3
公募	個人	地域定着支援業務	3
公募	個人	地域定着支援業務	2
公募	個人	地域定着支援業務	2

(C 別 紙)

契約の種類	支 出 先	主な契約内容	金額(百万円)
- 個人		社会復帰能力判定テスト開発の謝金	0.1
- 個人		社会復帰能力判定テスト開発の謝金	0.1
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

※ 一人当たり年間平均支出額 約143千円

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
-	各会計機関への予算配分	233			
計		233	計		0
B.個人			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
賃 金	社会福祉士の配置	3			
計		3	計		0
C.個人			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.個人			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0